

情報提供日: 令和8年9月29日

目標金額「300万円」
**龍ヶ崎から世界へ羽ばたくアスリートを支えるクラウドファンディング
「未来へつなぐ、龍ヶ崎市陸上競技場第3種公認更新プロジェクト」開始(10/3～)**

龍ヶ崎市では、ガバメントクラウドファンディング※1「未来へつなぐ、龍ヶ崎市陸上競技場第3種公認※2更新プロジェクト」を令和8年10月3日(土)から開始します。

本プロジェクトでは目標金額300万円を募ります。

寄附金はAIメカテックフィールド龍ヶ崎(龍ヶ崎市陸上競技場(たつのこフィールド)、以下 市陸上競技場)の、日本陸上競技連盟(JAAF)第3種公認を更新するための改修費用として活用されます。300万円未達の場合もすべて同様に活用されます。



本クラウドファンディングでは、**2万円以上の寄附者の希望に応じ、記名した銘板を改修後の市陸上競技場に掲示予定**です。(寄附総額90万円以上に達した場合に限ります。)また、ふるさと納税制度を活用したものであるため、市外在住者は寄附額に応じた返礼品も受け取れます。

クラウドファンディングの実施にあたり、陸上競技女子やり投げ日本代表の齊藤真理菜選手(龍ヶ崎市出身、龍ヶ崎ふるさと大使・パリ2024オリンピック出場)が応援コメントを寄せてくれるなど、市陸上競技場は2007年の第3種公認以降多くのアスリートを支えてきました。

これからも市陸上競技場が龍ヶ崎から世界へ羽ばたくアスリートを支え、人が集まる場所となる改修の一助となる寄附のご協力を、市内外問わず多くの方にお願ひします。

報道機関の皆さまには、本プロジェクトの告知及び取材を賜りますよう、お願い申し上げます。

※1 地域のプロジェクトから寄附先を選ぶ、クラウドファンディング型のふるさと納税。返礼品がない場合、市内在住者も寄附が可能となる。

※2 第3種公認陸上競技場とは、日本陸上競技連盟によって認定された陸上競技場の一種。日本では公認陸上競技場は、陸上競技の練習ならびに国内の競技会の運営が支障なく行われ、樹立された記録が十分信頼し得るように公認制度を設け、公認競技会を開催し得る十分な精度のある適切な施設として検定を行い認定している。

■募集期間	令和8年10月3日(土)から令和8年12月31日(木)まで
■目標金額	3,000,000円
■寄附金の活用方法	陸上競技場トラック改修/陸上競技場インフィールド芝生改修
■寄附方法	専用 Web ページから申し込み URL: https://www.furusato-tax.jp/gcf/5445

担当課

龍ヶ崎市 健康スポーツ部 スポーツ推進課 スポーツ都市推進グループ
 担当者:三坂・木村(みさか・きむら)
 連絡先:0297-60-1564(直通)

応援メッセージ

陸上競技女子やり投げ 斉藤 真理菜(さいとう まりな)選手



龍ヶ崎市出身／1995年10月15日生まれ

龍ヶ崎ふるさと大使

パリ2024オリンピックやり投げ女子日本代表

2017年の世界選手権(ロンドン)で日本代表デビュー。日本代表として各種世界大会に参戦し、2023年のアジア選手権大会(バンコク)では優勝。

日本やり投げ界トップ選手として活躍し続けている。

〈メッセージ〉

生まれ育ったまち「龍ヶ崎」。そして龍ヶ崎市唯一の陸上競技場、「たつのこフィールド」。たつのこフィールドが公認陸上競技場であるからこそ、私も開催された大会に出場することができました。

競技場は、記録を目指す場所であるだけでなく、自分自身と向き合い、何度も挑戦を重ねる中で、競技者としてだけでなく、一人の人間としても成長させてくれる存在だと感じています。

ここには、利用してきた一人一人の物語の一節が刻まれていると思います。努力や悔しさ、そして楽しさや喜びなど、たくさんの人の思い出が詰まっていると思います。

この場所がこれからも公認陸上競技場として、多くの人の挑戦を支え、新たな一歩を踏み出すきっかけとなる場所であり続けられるよう、今回のプロジェクトを応援しています。